

桑名警察署協議会議事録

令和7年度第1回桑名警察署協議会	
日 時 場 所	令和7年6月26日（木）午後2時30分～午後4時3分 桑名警察署3階会議室
出 席 者	1 三重県公安委員会委員 吉田すみ江委員 2 警察署協議会 10名 鵜飼鈴委員、門野広一郎委員、西藤真子委員、 佐藤沙未委員、佐藤博之委員、田邊和美委員、畑勇治委員、 林敬二委員、山川眞史委員、山下大貴委員 3 警察署 12名 署長、副署長、会計課長、警務課長、留置管理課長、 生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、 交通第一課長、交通第二課長、警備課長
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
1 委嘱状交付 2 公安委員会委員挨拶 3 警察署協議会設置の経緯・運営要領等の説明（警務課長） 4 警察署長挨拶 5 警察署幹部及び警察署協議会委員自己紹介 6 警察署協議会会長・副会長の選出 警察署協議会委員の互選により、会長に佐藤委員を選出した。会長が 山川委員を副会長に指名した。 7 管内治安情勢（警察署長） （1）犯罪情勢 （2）交通事故情勢 8 協議内容 （1）自転車の安全利用について（交通第一課長） （2）速度取締り指針の説明（交通第二課長） 9 質疑応答 （1）自転車等の安全利用について ＜委員＞ 私が中学校教諭をしていた際、自転車通学者に対してヘルメット着用を指導していたこともあり、その着用率は高い水準であったと記憶している。高校生になると、中学生に比べその着用率が低下しているので、高校生に対し、ヘルメット着用を勧めるための啓発活動が必要と思われるが、どのような取組を考えているのか教えてほしい。 【交通第一課長】 当署管内では、桑名高校がセーフティーバイシクル指定課外授業として、正しい自転車の乗り方等の安全講話を行っている。現状、当署管内の高校に安全講話を行うこと	

は、学校側の受入れ態勢が整っていないこともあり、今のところ、桑名高校を中心に実施している。さらに、ほかの学校においても、課外授業の一環として、自転車の正しい乗り方等の安全指導を行い、交通事故防止の向上を図っていく。

＜委員＞ 交通事故の抑止対策として、例えば、スタントマンによる出会い頭事故を再現した映像を見ると効果絶大と思うので、そのような映像を作成していただき、高校側に配布して授業で活用できればいいと思うので、御検討いただきたい。

【交通第一課長】 毎年１回、地元企業の協力を得て、小学生を対象として、大型トラックを使用して、同車両の右左折時の内輪差や巻き込み状況等を目視で確認してもらい、事故防止の教養を行っている。このほか、県警本部では、スタントマンによるトラックとの衝突実験を間近で見てもらい、事故の恐ろしさを感じていただくなど、交通事故防止の取組も行っている。

＜委員＞ 自転車による交通事故は、どの年代が多いのか教えてほしい。

【交通第一課長】 中学生、高校生そして高齢者の年齢層を中心に多くなっている。中学生や高校生の移動手段は、自転車が必要となっているので、事故の発生が増加傾向であり、高齢者についても、近場の移動は、車利用より自転車を利用する方が多いので、交通事故の発生が多くなっていると考えられる。

(2) 飲酒運転取締り状況について

＜委員＞ ニュースを通じて、飲酒運転が増えていると感じているが、具体的にどのような対策をされているのか。

【交通第二課長】 現状、繁華街で飲酒した後、自動車に乗って帰る飲酒運転のほか、お酒が抜けていると思ったが、実は抜けておらず、二日酔い運転する者もいる状況に鑑み、時間帯にとられず、積極的に取締り活動を推進している。

(3) シニアカーの利用について

＜委員＞ シニアカーは、どの場所を通行すればよいのか教えてほしい。

【交通第一課長】 シニアカーは車両に該当しないので、歩道を通行していただきたい。

(4) 外国人犯罪について

＜委員＞ 普段の生活を通じて外国人の方と関わることが多く、外国人居住者が増加傾向にあることを実感しているところであるが、現状の外国人の犯罪について、どのように捉えているのか教えてほしい。

【署長】 犯罪情勢で説明したとおり、外国人による犯罪が発生しているが、これは、外国人居住者全体のごく一部の者が犯罪行為を犯しており、外国人全体のイメージが悪く思われることがある。警察としては、各種犯罪を防止することを主眼として予防活動等に取り組んでおり、日本人と同様に外国人の方々の安全・安心を確保するため、行政と協力して取り組んでいく。

10 公安委員会委員講評

11 警察署長謝辞

備 考	報道機関なし
-----	--------